

未来をつくる 深谷の進学先



医療の未来を担う次世代のリーダーへ
学校法人青淵学園
東都大学

学校の概要・特色

- ・ 渋沢栄一翁の精神が息づく深谷の地で、豊かな人間性と倫理観を育む
- ・ 地域の中心的病院と連携した、実践的な臨地実習を1年次から実施
- ・ 看護師に加え、埼玉県内でも数少ない『助産師』『保健師』の養成課程を設置

授業・学生生活

倫理観と実践力のある看護師を育成しています。充実した設備を駆使した授業や地域連携にも貢献し、手厚い国家試験対策の指導のもと、地域医療を支える人材を輩出しています。学生一人ひとりを教職員が全力でサポートします。

主な就職実績

深谷赤十字病院(助産師・看護師)、深谷中央病院、深谷市(保健師)、熊谷総合病院、秩父市埼玉医科大学病院、県立循環器・呼吸器病センター、群馬大学病院ほか

学校行事・地域連携トピックス

青淵祭(学園祭)：次世代の笑顔がはじける、地域とつながる一大イベント
『地域の皆様の笑顔のために!』を合言葉に、こども向け緑日や移動動物園、医療大学ならではの健康チェックやマッサージ、模擬店などを企画。さまざまな世代とふれあう経験が、看護職に不可欠な対人関係能力の向上を促し、地域を巻き込むリーダーシップの基礎を培う大切な機会となっています。



子ども大学深谷：次世代を担うこどもたちへ、命の大切さを伝える体験型授業
埼玉工業大学と連携し開校。看護の視点を生かした手洗い講座などを通し、こどもたちの知的好奇心を刺激します。また、学生自身も言葉選びや寄り添う姿勢を学び、未来の医療現場を引っ張る指導力と対人実践力を養います。



オレンジカフェ東都：認知症のかたや家族に寄り添い、地域ケアの最前線を学ぶ
認知症への理解を深めるコミュニティカフェを学内で定期開催。専門知識を生かした健康相談やミニ講座を行い、地域住民が安心して笑顔になれる居場所を創造しています。



東都大学 深谷キャンパス
ヒューマンケア学部看護学科

住所 〒366 - 0052
上柴町西4 - 2 - 11
電話 574 - 2500



▲問い合わせ
フォーム



▲大学ホーム
ページ



※現在、栄養管理学部は編入学選抜のみ募集を行っています。編入学選抜を希望されるかたは、ご連絡ください。



手話 de おはなし



手話に興味はあるけど難しそう…そんなかたも、身近なところからチャレンジしてみよう!今回は、6月28日に誕生日を迎えるふっかちゃんにちなんだ手話です。

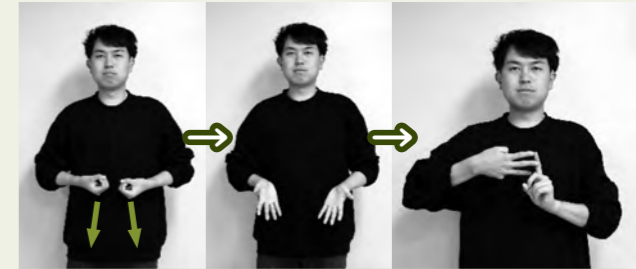
(手話協力 深谷市聴覚障害福祉協会)

ふっかちゃん



両手とも、親指、人さし指、中指の3本の指を立て、頭に付ける(ふっかちゃんの角と耳を表現)。

誕生日



両手こぶしを、腹から前方斜め下へ指先を前に向け開いて出す。左手の人さし指に右手の人さし指、中指、薬指の3本の指を付ける。

障害福祉課 ☎ 571 - 1011 ・ 📠 574 - 6667



立志と忠恕の後継者

敬三物語

第3話 腕白倶楽部

渋沢敬三は、明治36年(1903)年に東京高等師範学校附属小学校(現在の筑波大学付属小学校)に入学しました。当時は神田一ツ橋にあった同校まで歩いて通い、健康優良児そのものでした。深川の生まれだけに、なかなかの江戸っ子で、大人になっても言葉遣いや言い回しに、歯切れのいいべらんめえ口調が残っていました。丸顔で利発そうな顔つきの写真も残されています。創意工夫に富み、近所のこどもを集め「腕白倶楽部」という会をつくり、率先して新しい遊びをつくり出したりするなど、その頃からリーダーとしての資質が伺えます。敬三一家



▲東京高等師範学校附属小学校時代
(['柏葉拾遺』(柏窓会1956年)所収)

が三田綱町に転居すると、敬三と深川のこどもたちは三田で定期的に集まって『腕白雑誌』とか『腕白世界』という同人誌を作るようになります。その同人誌の構成は、おとぎ話、旅行記、俳句、漫画など、メンバーが思い思いに書きつづけていきましたが、その中に『学問』と称して、おのおのが得意な分野で調べた自由研究のコーナーもありました。敬三も『動物アカクマリ』というアリの題材にした、詳細な図解入りの解説文章を書いていきます。元渋沢史料館館長の井上潤さんは「調査し、まとめ、発表する」という意味での研究活動の原点は、この『腕白雑誌』に見出せるのではないかと述べています。

※同人誌…同じ志や趣味を有する人たちが、互にお金を出し合って自主的に発行する刊行物。